

外務省海外安全情報（危険情報：抜粋）

フィジーへの渡航を予定される皆様へ

発出日：2025年02月13日（継続/内容の更新）

首都圏（スバ市、ラミ町、ナシヌ町及びナウソリ町）
並びに西部地区のラウトカ市、ナンディ町（デナラウ除く）及
びバ町

〔レベル1〕
「十分注意してください。」（継続）

【ポイント】

首都圏（スバ市、ラミ町、ナシヌ町及びナウソリ町）、西部地区のラウトカ市、ナンディ町（デナラウを除く）及びバ町では、窃盗、強盗、詐欺、暴行、性犯罪及び家宅侵入が発生しており、外国人観光客はターゲットになりやすいため、滞在中は十分に注意してください（特に夜間）。

【概況】

(1) 政治情勢

フィジーでは2014年9月にクーデター後初めての総選挙が実施され、民主的手続による政権が誕生して以降、政治的な要因による騒ぎなどは発生していません。

(2) 治安情勢

首都圏（スバ市、ラミ町、ナシヌ町及びナウソリ町）、西部地区のラウトカ市、ナンディ町（デナラウを除く）及びバ町では窃盗、強盗事件が発生しており、特に外国人観光客はスリやひったくりのターゲットになりやすいためズボンの後ろポケットに財布やスマートフォンを入れて歩く行為や、カバンなどの持ち物から目を離す行為は避けてください。

【滞在時の注意】

- フィジーにおける日本人の被害は、隙を見せたことによって狙われるスリやひったくり被害が多数を占めます。特にスマートフォンを狙った窃盗が多いため、歩きながらのスマートフォン使用や、ズボンの後ろポケットに入れて出歩くといった行為は避けてください。
- 渡航・滞在時は、「安全対策基礎データ：https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_076.html」や「安全の手引き：<https://www.fj.emb-japan.go.jp/files/000566567.pdf>」も参考にしてください。また、外務省、在フィジー日本国大使館、現地政府機関、報道等から最新情報を入手するよう努めてください。
- 海外渡航前には万一来に備え、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。フィジーに3か月以上滞在する方は、在フィジー日本国大使館が緊急時の連絡先を確認できるよう、必ず在留届を提出してください。3か月未満の旅行や出張などの際には、渡航先の最新安全情報や、緊急時の大使館または総領事館からの連絡を受け取ることができるよう、外務省海外旅行登録「たびレジ」に登録してください。（<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/index.html>）
- フィジーでは、日本人を含む外国人を直接標的としたテロ事件は確認されていませんが、テロによる日本人の被害は、シリアやアフガニスタンといった渡航中止勧告や退避勧告が発出されている国・地域に限りません。テロは、日本人が数多く渡航する欧米やアジアを始めとする世界中で発生しており、これまでもチュニジア、ベルギー、バングラデシュ、スリランカ等においてテロによる日本人の被害が確認されています。

近年は、世界的傾向として、軍基地や政府関連施設だけでなく、警備や監視が手薄で不特定多数が集まる場所を標的としたテロが頻発しています。特に、観光施設周辺、イベント会場、レストラン、ホテル、ショッピングモール、公共交通機関、宗教関連施設等は、テロの標的となりやすく、常に注意が必要です。

また、外国人を標的とした誘拐のリスクも排除されず、注意が必要です。

テロ・誘拐はどこでも起こり得ること、日本人も標的となり得ることを十分に認識し、テロ・誘拐に巻き込まれることがないように、「たびレジ」、海外安全ホームページ、報道等により最新の治安情報の入手に努め、状況に応じて適切かつ十分な安全対策を講じるよう心掛けてください。

詳細は、フィジーのテロ・誘拐情勢も併せてご確認ください。

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_076.html

※外務省海外安全情報（危険情報）の詳細につきましては、

外務省海外安全ホームページ：<http://www.anzen.mofa.go.jp>
<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>（携帯版）にてご確認ください

または、

外務省領事サービスセンター 電話：（外務省代表）03-3580-3311（内線）2902, 2903
外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐関連を除く） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）2306
外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐関連） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）3047
までお問い合わせください。

弊社では海外安全情報が発出された場合、原則として〔レベル1〕「十分注意して下さい」までの地域、国についてツアーを実施しており、ツアー実施にあたりましては、現地情報を十分把握し、安全で円滑な日程となる様配慮して運行管理を行っております。